



本郷ふじやま公園
本郷ふじやま公園
運営委員会発行

☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

江戸時代の“変化朝顔”が公園で開花！

猛暑が続く今年の夏ですが、公園の古民家前では、花が5つにさけた珍しい朝顔が涼しげに咲き、来園者の目を楽しませています。皆さんも、運が良ければ珍しい朝顔の開花を目にすることができるかもしれません。

7月上旬に届いたこの朝顔の苗は、江戸時代に人気となった変化朝顔の一種で、「立田蜻蛉」というもの。根にはわずかな土、湿らせた新聞紙の中で大切に包まれ、それは植物の葉のようでした。



即、水たっぷり含んだポットに植え、大切に育てたところ見事に花開いてくれました。

朝早く咲く朝顔は、江戸庶民の勤勉な生活パターンに合ったのか江戸時代に入るとブームに。加賀千代女が「朝顔に釣瓶とられて貰い水」と詠んだり、入谷の朝顔市が賑わうなど、夏の風物詩として庶民の間に定着したようです。当時は、花売り屋が季節の変わりを知る花を持って「あさがお～おおのない(苗) や～ああゆうがおのない(苗) と・・・」と歩いた

そうなの。

ふじやま公園では、これからも江戸時代の“変化朝顔”の栽培などに取り組み、更に古民家の雰囲気醸し出すべく計画中です。どうぞお楽しみに。



変化朝顔とは、突然変異や品種改良により作り出された珍しい朝顔。文化文政(19世紀初頭)の頃大ブームとなった。

立田蜻蛉とは、花が5つに裂け、葉がトンボ(左写真)の形をした変化朝顔。葉がモミジのように五つに分かれていることから、モミジの名所として名高い竜田(立田)の地名を頭に冠して名前とした。



夏の日差しの中で、まだ柿の落果が続いている。害虫やウイルスが原因になることもあるというが、大半は自分が育てられないと判断して樹が落とすのだという。その自然の摂理は、言葉を変えれば神の技ともいえるのだろうか。振り返って、ところが神ならぬ身は、自分の能力をほとんど知らない。何もかも…と欲をかいてしまうことが多い。1本の柿は花の後、秋までに1000個近い果実を落とすという。柿の潔さを見習いたい。そろそろ断・捨・離を考えてもいい歳になったのかな。



◆今年はずっとおいしくなるよ！梅干し

6月に収穫され、容器の中に塩漬けされていた44kgの梅は、梅雨が明けて土用に入った日から、夏の日差しと夜露を3日3晩たっぷり浴びて、別の容器に入れられました。現在は主屋の土間で風味が増すのを待っています。約3か月後においしく食べごろになった梅干は各種イベントで利用される予定です。今年の梅は秘密の隠し味を加えられているのでご期待ください。



◆炭焼き広場を改修しています



整備を行い、安全性と作業性が向上
老朽化が進んだ竹垣の修理を進め
公園へおいでの際は安全性や快
場、農園もぜひご覧いただき、部会
い。

里山部会や農芸部会のボランティア活動の拠点としてだけでなく、近隣中学校の職場体験や小学生の炭焼き体験などで地域の皆さんに親しまれている炭焼き広場を改修しています。

炭焼き窯については内部の清掃、天井部のレンガの一部の積み直し、レンガ部の目地詰め、外側の耐火セメントの施工などと周辺部の荒木田の施工を行い、一新しました。これにあわせ、広場の周囲の杉や老木の伐採、下刈りなどの



しました。引き続き、
る予定です。

適性が増した炭焼き広
活動にご参加くださ

「昔の暮らし 民具と農具」 蓑

(みの)

蓑は、藁(わら)やシュロなどの茎、皮、葉で作られる外套・雨具の一種です。防雪、防寒、日除けのための作業着として農業、漁業、山仕事や狩猟のほか旅の道具としても、長い間、広く用いられました。地方によっては、婚礼の行列で祝樽を担ぐときに着用する例もありました。

蓑の形は、用途によって肩蓑、胴蓑、背蓑、腰蓑、丸蓑などがあります。雨に当たる表側は材料を重ね合わせてあり、鳥の羽に似ています。裏側は網目のように編んであります。一般的に用いられているものが肩蓑で、肩から背中全体を腰部までを覆います。腰蓑は腰部をすっぽり覆うもので、農作業のときには前掛けの機能を果たす便利なものです。

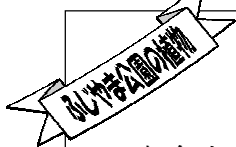


蓑は、神の旅装束となり、民俗儀礼などで仮装の道具として用いられます。時には、人を神や異界のものに変身させる呪力を発揮する変身具でもありま



最近、来園する小学生などから昔の暮らしの生活道具、民具・農具に関する質問を受けること多くなって
きました。そこで当公園の収蔵品をはじめ、一般的に昔の暮らしに関った民具・農具についてシリーズで
解説していきます。

す。正月、小正月、婚礼や葬礼、雨乞い、虫送りなどに用いました。



ヤブガラシ フドウ科

日本全土に分布する。野原や雑木林など至るところに生える繁殖力旺盛なツル性の多年草。他の植物に覆いかぶさりそれらを枯らしてしまうことから“藪を枯らす”でこの名が付く。長い茎に巻きひげがあり、他の植物に巻き付け登る。葉は鳥足状で他の葉と見分けがつく。根は地下茎が長く、根絶が難しい。淡緑色で4弁の小さな花を多数付け、蜜が豊富でたくさんの昆虫が集まる。果実は熟すと黒い球形。



◆今年も能舞・能管コンサートを行います

(栄区制30周年記念イベント)

本郷ふじやま公園の秋の風物詩になった能舞・能管コンサートを今年も行います。秋の代表的な演目から能舞、連吟、一管演奏などを行います。



日時：10月24日(土) 17時～18時30分
 場所：ふじやま公園古民家主屋
 出演者：金剛流能楽師 熊谷真知子、
 一嘈流能管奏者 根岸啓子 ほか
 演目：紅葉狩、融(トウル)、枕慈童 などから

◇鑑賞希望の方は往復ハガキ(1名様1枚)でお申込みください。80名様限定 無料。

申込先：本郷ふじやま公園事務所、9月30日(水)必着

◇希望者にふじやま公園特製のそばを提供します。300円、30食限定。

コンサート申込みハガキに「そば希望」とご記入ください。

コンサート、そばとも多数の場合は抽選となります。



平成27年9月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	4日(金)	古民家歴史部会 部会	13日(日)
農芸部会 部会	17日(木)	古文書解読勉強会	6日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	2日(水)
里山部会 作業	12日(土) 19日(土) 27日(日)	クリーンアップ	1日(火) 15日(火)
工作棟部会 部会	9日(水)	広報部会	
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	6日(日)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	印刷	13日(日)
		ホームページ制作打合せ	10月1日(木)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
押し花	9月29日(火)13時30分～ 15時30分	フラワーアレンジデザイン押し花絵	2,000円	9月16日(水) 6名
粘土で作るアクセサリーサラー(全3回)	9月18日(金)10月16日(金)11月20日(金) 各々9時30分～12時	自然乾燥でオリジナルなブローチ作りを楽しめます	1,500円	9月8日(火) 10名
子ども工作 対象：小学生	9月20日(日)10時～11時 13時～14時	クラフトボール クラフトとテープでボールを作ろう	無 料	当日受付 各10名
簡単 デコパージュ (石鹸デコ)	10月 6日(火)10時～12時	ペーパーナプキンを切って貼って石鹸3個にデコパージュします	900円	9月19日(土) 6名
布細工 (全2回) 2教室	①10月8日(木)、28日(水) ②11月17日(火)、19日(木)各々13時～16時30分	干支の「さる」を作ります ①10月教室、②11月教室の何れかにご応募下さい	1,000円	9月30日(水) 12名
七宝	10月16日(金)13時～15時	金箔、銀箔を使用したブローチ	600円	9月30日(水) 6名
初心者茶道 体験教室 (全3回)	10月17日(土)13時～16時 11月21日(土) 〃 12月19日(土) 〃	おもてなしの心を日常生活に生かしましょう(お子さんでも可) (持参：白いくつした)	一回毎に 500円	9月30日(水) 5名
押し絵 (全2回)	10月 6日(火)13時～16時 10月20日(火) 〃	来年の干支「さる」、「見ざる聞かざる 言わざる」を色紙に	1,800円	9月19日(土) 12名
フラワー アレンジ	10月29日(木)13時30分～ 15時30分	プリザーブドで秋色アレンジ (持参：はさみ、持ち帰り袋)	2,000円	10月13日(火) 8名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お 知 ら せ・・・

★ いろいろ端むかし話の会

いろいろの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか

日 時：9月17日(木) 10時30分～11時30分 場 所：古民家主屋いろいろ端

定 員：15名 当日参加自由 無料



★ 7月ふじやま公園来園者数 7月度来園者数 1,159名 27年度累計 8,529名

・開館時間：9時～17時
・入館料：無料
・休館日：毎月第1水曜日(9月2日)
・クリーンアップ：毎月第1・3火曜日10時～11時(9月1日・15日)

★本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593